6505

212 COMBO

Tube Guitar Amplifier

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はPeavey社製 6505 212COMBOをお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取り扱い説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないで下さい。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いて下さい。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止め下さい。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止め下さい。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意して下さい。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないで下さい。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意下さい。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用して下さい。
13. AC100V、50/60Hzにてご使用下さい。

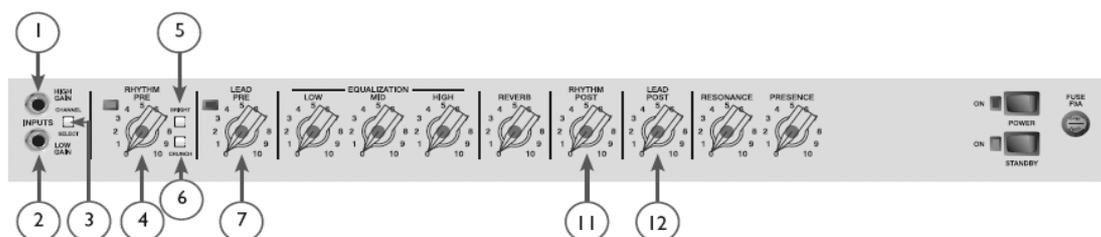
故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

6505™ 212 combo

Tube Guitar Amplifier

基本仕様

- 8Ω、または16Ωのロードに対し60W（RMS）の出力
- 12AX7プリアンプ真空管を5本搭載
- 6L6GCパワーアンプ真空管を2本搭載
- HighとLowゲイン入力を搭載
- フットスイッチで切替え可能な2チャンネルプリアンプ
- リズムチャンネル：Pre/Postゲイン、Bright＆Crunchスイッチを搭載
- リードチャンネル：Pre/Postゲイン
- 3バンドEQを搭載
- プレゼンス＆レゾナンスコントロールを搭載
- Sheffield 1200スピーカー×2を搭載
- フットスイッチ付属

フロントパネル

入力端子(1)、(2)

Highゲイン入力端子(1)はNormalゲイン入力端子(2)の2倍ゲインレベルが高く設定されています。6505 212COMBOのハイゲイン回路を最大限活用する際にはHighゲイン入力端子に接続して下さい。両方の入力端子を同時に使用すると6505 212COMBOは自動的にNormalゲインモードに入ります。2本のギターをステージ上で交互に使用する等、2つの入力端子を同時に使用する際にはアンプが最大ゲインレベルに到達しないように注意して下さい。両方の入力端子を聴き比べてみてどちらかの入力端子を選択することをお勧めします。

チャンネル選択スイッチ(3)

Rhythm/Lead チャンネルのいずれかを選択します。このボタンが押されている状態の時、6505 212COMBO は Lead チャンネルに設定されていることを示し、赤い LED インジケーターが点灯します。またこのボタンが押されていない状態の時、Rhythm チャンネルに設定されていることを示し、緑色の LED インジケーターが点灯します。付属した 6505 212COMBO 専用のフットスイッチを使用することによりチャンネルを離れた位置から選択することが可能になります。フットスイッチによる遠隔操作を行う際はスイッチを押して 6505 212COMBO 本体が Lead チャンネルに設定されていることを確認して下さい。

RHYTHM プリ/ポストゲイン(4)、(11)

RHYTHM チャンネルのプリゲイン(4)とポストゲイン(11)はリードチャンネルゲインコントロールと同様に機能します。通常、RHYTHM チャンネルはクリーンな音を得る為にプリゲインを低く設定し、ポストゲインで全体のボリュームを調節します。尚、RHYTHM チャンネルは CRUNCH スイッチ(6)を押すことによってもう 1 つの音色を得ることが可能になります。

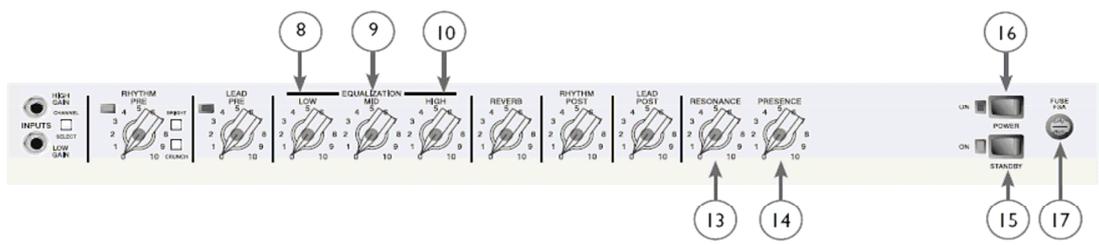
BRIGHT スイッチ(5)

RHYTHM チャンネルのみ使用可能な高域のブーストスイッチです。尚、ブースト量はプリセットされています（6dB @2kHz)。

CRUNCH 選択スイッチ(6)

RHYTHM チャンネルのゲインをブーストし、2 つ目のリードチャンネルのような役割をします。押した状態でオンに切替わります。

LEAD プリ/ポストゲイン(7)、(12)

LEAD チャンネルのプリゲインは入力レベルの設定を行い、全体のボリュームを調節する LEAD チャンネルポストゲインと共に使用します。プリゲインを低く設定すると比較的クリーンな音質を得られ、高く設定すると倍音の豊かなディストーションサウンドを得ることが可能です。プリゲインとポストゲインコントロールはお互いに作用しあう為、音質を調節する際はまず両方のゲインを低く設定して下さい。次にプリゲインを調節してオーバードライブレベルを設定し、全体のボリュームをポストゲインで調節して下さい。

イコライザー(8)、(9)、(10)

6505 212COMBO はパッシブ・ロー／ミッド／ハイのイコライジング機能を搭載しています。各チャンネルに対応するよう特別に設定されています。

レゾナンス＆プレゼンス(13)、(14)

6505 のみに搭載されたレゾナンスコントロールは低周波帯域のパワーアンプゲインをスピーカーキャビネットのレゾナンス／アッテレーター・ポイントにおいてブーストするように設定することができます。つまり、レゾナンスコントロールは EQ のローのように機能し低周波数帯域のロールオフを補正することができます。またプレゼンス・コントロール（14）も同様に機能し、高周波数帯域をブーストします。この機能の調節を行う場合は、実際にお使いのキャビネットから音を出力し、良く聴き比べることをお勧めします。

スタンバイスイッチ(15)

6505 を使用していない時にアンプ本体をスタンバイモードに設定します。スタンバイモード時には真空管が暖まった状態に保たれます。これによってウォームアップの時間を省くことができ、いつでもアンプを使用することが可能です。6505 がオペレーションモードになっている時にスタンバイ LED インジケーターが点灯します。

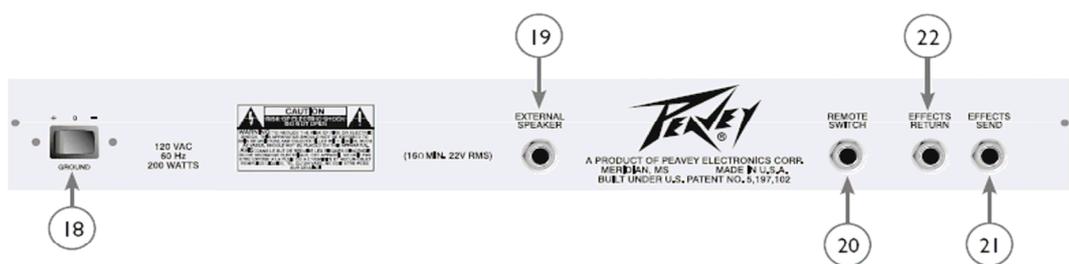
電源スイッチ(16)

アンプ本体の電源を切替えます。スイッチを“ ON ”の位置にすると、電源 LED インジケーターが点灯し、本体に電源が供給されていることを示します。

ヒューズ（17）

3A のヒューズがヒューズホルダーのキャップ部に取り付けられています。ヒューズが切れた場合は、アンプ本体の損傷を防ぐ為に必ず同型のものと交換して下さい。ヒューズが度々切れてしまう場合は PEAVEY 正規代理店のサービスセンターに修理をご依頼下さい。

注：ヒューズを交換する場合は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

リアパネル

グラウンドスイッチ(18)

3 段階切替可能のロッカー型スイッチを使用しています。通常、グラウンドスイッチは“中央の位置（0）”に設定します。この状態でスピーカーキャビネットからハムノイズが出力される場合、グラウンドスイッチを＋またはーに切替えて下さい。これによりハムノイズが減衰します。もしハムノイズが継続して出力される場合は、信頼ある PEAVEY 正規代理店のサービスセンターにご相談下さい。

外部スピーカーキャビネット用出力端子(19)

外部スピーカーキャビネット（最大 16Ω）を接続して信号を出力することが可能です。

リモートフットスイッチ端子(20)

6505 に付属しているフットスイッチを接続して使用します。フットスイッチを使用する際は LEAD チャンネルが選択されていることを確認して下さい。リモートスイッチによって、チャンネルの選択、またリバーブのオン/オフを切替えることが可能です。

エフェクトセンド/エフェクトリターン(21)、(22)

モノラル仕様のフォンケーブルを使用してエフェクトセンドからアンプ信号を外部エフェクターやプロセッサーへ送り、エフェクトリターンへ戻すことができます。エフェクトループには通常コーラス／リバーブ／ディレイ等のゲインエフェクトがついていない機器を接続します。

製品仕様

パワーアンプ部

定格電力とインピーダンス

60W RMS（16、8Ω）

クリッピングレベル

65W RMS（16、8Ω）

@5% THD、1kHz、120VAC

周波数特性

50～20kHz（+0、 - 3dB @50W RMS into 8Ω）

ハム＆ノイズ

＞74dB（定格電力以下）

パワーアンプ EQ

アクティブプレゼンス：　+10dB @2kHz

アクティブレゾナンス：　+10dB @キャビネットレゾナンス周波数

消費電力

200W、120VAC、50/60Hz

プリアンプ部

以下の条件で計測　@1kHz

Low＆High：　@10

Mid：　@0

Bright：　OUT

LEAD＆RHYTHM POST：　@10

プレゼンス＆レゾナンス：　@0dB

プリゲインの公称レベル：　@5

プリゲインの最低レベル：　@10

プリアンプハイゲイン入力

インピーダンス：　472kΩ

LEAD チャンネル
公称入力レベル：　　　－80dBV、.1mV RMS
最低入力レベル：　　　－92dBV、.025mV RMS

CLAEN チャンネル
チャンネル選択スイッチオフ時
公称入力レベル：　　　－21dBV、85mV RMS
最低入力レベル：　　　－32dBV、25mV RMS
最大入力レベル：　　　0dBV、1.0V RMS
（Crunch スイッチオン時は 16dB マイナス）

プリアンプ Normal ゲイン入力
インピーダンス：　　　44kΩ
（全てのレベルが 6dB アップ）

エフェクトセンド
負荷インピーダンス：　≧47kΩ
公称出力レベル：　　　－10dBV、300mV RMS

エフェクトリターン
インピーダンス：　　　470kΩ
公称出力レベル：　　　－10dBV、300mV RMS

プリアンプ出力
負荷インピーダンス：　≧47kΩ
公称出力レベル：　　　+10dBV、3V RMS

サイズ
76.5(W)×61.2(H)×30.4 (D)cm

重量
38.3kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。